



## 日産合成工業株式会社 メールマガジン

2024・4 第200号



### ネモフィラの丘

今年は例年よりも桜のシーズンが長めでしたが、ゴールデンウィークにかけてはネモフィラが見頃を迎えます。

関東のネモフィラの名所として、茨城県ひたちなか市にある「国営ひたち海浜公園」がよく取り上げられますが、「みはらしの丘」にはなんと530万本ものネモフィラが植えられており、空と海と丘が青一色で一体になる壮大な景色が楽しめます。（写真は昨年のゴールデンウィークに撮影）

ネモフィラは、ムラサキ科ネモフィラ属に分類される植物で、秋まきの一年草です。代表的な品種は「インシグニスブルー（insignis blue）」で、“インシグニス”は“卓越した、優れた”などの意味があるそうです。また、「ネモフィラ」という属名は、ギリシャ語の「ネモス（小森）」と「フィレオ（愛する）」が合わさった言葉で、森林の周辺に分布していることが由来だそうです。ちなみに、「フィレオ」と聞いて、もしやマクドナルドの「フィレオフィッシュ」は「魚を愛する」という意味かな？と思いましたが、こちらはフランス語で「filet o fish」と表し、直訳すると「魚の切り身」というそのままの意味でした。



### 平和への願いから「映え」へ

国営ひたち海浜公園は、かつては日本軍の水戸東飛行場、終戦後はアメリカ軍の射撃場として使われた場所に、平和を願う公園として1991年に一部が開園しました。「みはらしの丘」はまさに射撃場の標的があった場所だそうで、当時の植物管理担当者が「丘と空を同じ色にすれば、過去も忘れられるくらい違う景色になるのでは」と提案し、2001年からネモフィラの植栽がスタートしたそうです。

ネモフィラはガーデニングでは寄せ植えとして他のポピュラーな花々の引き立て役として用いられる程度の地味な存在でしたが、みはらしの丘が「死ぬまでに行きたい！世界の絶景ランキング」（2012年）で、世界11位にランクインしたのをきっかけに、InstagramなどのSNSの普及もあり、映える景色、シェアしたくなる絶景としてブームが加速し、現在ではゴールデンウィークに行きたい旅行先でディズニーリゾートより上位にランクインするほどの人

気スポットとなっています。春はネモフィラで青に染まる「みはらしの丘」ですが、秋は3万3千本のコキアで真っ赤に色づきますので、春はもちろんのこと、秋にも訪れてみてはいかがでしょうか。

### ネモフィラの“花言葉”

ネモフィラは、青い花を咲かせ、長く細かい切れ込みのある葉を持つことから、艶のある青い宝石“瑠璃”と“唐草模様”になぞらえて和名では「瑠璃唐草（ルリカラクサ）」と呼ばれます。そして、その愛らしい様子から「可憐」という花言葉を持ちます。

身内の話で申し訳ありませんが、弊社で十数年、畜産農家さんに寄り添ってきた営業のK氏が5月で退職し、新しいことにチャレンジすることになりました。ネモフィラは比較的どこにでも根付いて花を咲かせることから「どこでも成功」という意味もあり、K氏は偶然にもひたちなか市が活動拠点になることも重なり、今号は“ネモフィラ推し”とさせていただきます。それではニッサンメールマガジン第200号をお届けします。(O)

### 植物由来成分について

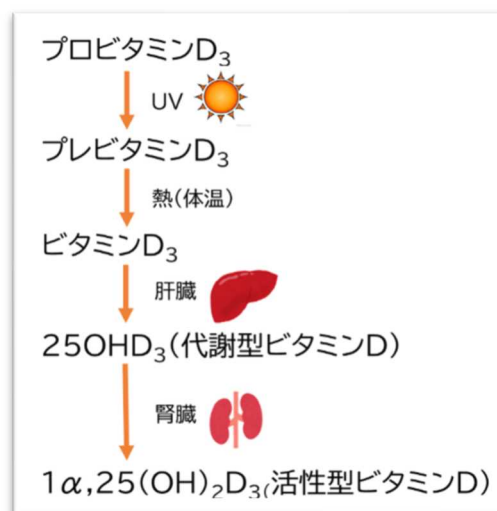
ネモフィラの和名は、先述の通り「瑠璃唐草（ルリカラクサ）」ですが、青い鉱石を指すこの“瑠璃”から始まる和名を持つ植物は17種もあります（WEBLIO 辞書より）。

植物はアルカロイドやフラボノイドなど様々な成分を作ることが知られており、古来より様々な医学、薬学、栄養学等に応用されてきました。先ほどの“瑠璃〇〇”のうち、「瑠璃唐綿（ルリトウワタ）」は茎の乳液中にアルカロイドが含有されていますし、「瑠璃柳（ルリヤナギ）」には活性型ビタミン D 配糖体が含有されていることが知られています。

### ビタミンDに関する最近の動向

さて、ルリヤナギに含まれる活性型ビタミン D から話を膨らませ、今回はビタミン D の最近の動向についてご紹介いたします。

まずビタミンD発見の起源ですが、イギリスで“くる病（rickets）”モデルの犬が作成され、タラの肝油を投与する事で治癒する事が分かり、1922年にアメリカの研究者が抗くる病作用を示す物質を ビタミンD と命名したことに始まります。くる病は牛でもおなじみの病気であり、今でこそ骨形成が弱く、骨が軟化し曲がり、ビタミンD不足が要因の一つであると分かっていますが、当時は歪局歩行を主訴とする原因不明の小児の骨の病気となっていました。のちに、動物体内や植物中に存在するビタミンD前駆物質に光を照射する事で、抗くる病活性を有するビタミンDに変化する事が報告されました。また、1970年代になり、生体内で代謝された活性型ビタミンDが単離されて生理活性等が明らかになると、ビタミンDの代謝異常による骨疾患の治療法として活性型ビタミンD 剤が誕生しました（ビタミン 72 巻 山田先生 1998年）。このように現在では、ビタミンDは、体内で機能するために数段階変化する必要があることが分かっています（右イラスト参照）。



従来、体内で最終的にビタミン D 受容体 (VDR) に結合して作用を発揮するのは“活性型ビタミン D”と言われていました。しかし、近年、中間体である“代謝型ビタミン D”についても研究が進められており、前立腺由来培養細胞に代謝型ビタミン D を添加したところ、代謝型ビタミン D が VDR に直接結合して細胞増殖を抑制する事が示唆され、代謝型ビタミン D が単なる前駆体であるという概念が覆る結果が示されています。また、腎臓の酵素 (尿細管の CYP27B1) の作用で活性型ビタミン D に代謝されるとされてきましたが、CYP27B1 欠損マウスに代謝型ビタミン D を投与したところ、くる病が改善されたことから、代謝型ビタミン D 自体の効果であることや、CYP27B1 以外の酵素で代謝されている可能性も示唆されています。(ビタミン 93 榊先生 2019 年より引用)

このように、現在でもビタミン D の研究は継続されており、数十種ある代謝産物の研究もさることながら、その多岐にわたる機能性の解明も含め、非常に興味深い成分であると思います (T)。

## お知らせ

### 印刷用の PDF ファイル

印刷用に PDF ファイルを添付しました。PDF ファイルをご利用いただくためには、Adobe Reader が必要です。お持ちでない場合、[こちらからダウンロードし、インストールしてご利用ください](#)。

### メールマガジンへの登録・ご質問等

メールマガジンの配信の停止や登録内容の変更、お問い合わせ、ご意見・ご要望等々は[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページをご利用ください。

### アドレス変更をお忘れなく

人事異動、転退職等でメールアドレスが変更になった場合で、引き続き日産合成工業株式会社のメールマガジンの配信を希望される方は、旧アドレスと新アドレス及び新所属等を[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページを利用してお知らせください。配信できなくなったアドレスは、メーリングリストから自動的に削除しておりますので、よろしくお願いします。

### QRコード

QR コードから、[当社のウェブサイト](#)のトップページにアクセスできます。

